

第5章 方法書についての市長意見及びそれに対する事業者の見解

方法書についての市長意見及びそれに対する事業者の見解は、表5-1に示すとおりです。

表5-1 方法書についての市長意見及びそれに対する事業者の見解

市長意見		事業者の見解
騒音・振動	施設の存在・供用時における施設の稼動に伴う設備機器からの騒音・振動について、準備書に想定される設備機器の仕様等を記載するとともに、環境に影響を与える機器の導入が見込まれる場合には、調査、予測及び評価を行い、必要に応じて環境保全措置を検討すること。	施設の存在・供用時における施設の稼動に伴う騒音・振動について、設備機器の仕様等を記載し、環境への影響が懸念される場合には、調査、予測及び評価を行い、必要に応じて、環境保全措置を検討します。
風害	事業区域内に配置予定である通過動線による影響の可能性を考慮して、予測評価を行うこと。 また、周辺に、学校等の特に配慮が必要な施設があるため、地表面付近への影響に十分に留意すること。	風害の予測評価に際しては、事業区域内に配置予定である通過動線による影響の可能性を考慮します。 また、周辺に、学校等の特に配慮が必要な施設があるため、地表面付近への影響についても十分留意します。
土壌	事業区域には現在にいたるまで、多様な施設が立地し、有害物質の使用による土壌の汚染が懸念されることから、当該区域における土壌の汚染状況を把握するため、適切な方法にて現地調査を行うこと。	事業区域における土地利用の経緯から想定される土壌汚染物質を対象とした現地調査を実施し、以って、当該区域における土壌の汚染状況の把握を行います。
日照	計画建築物の存在による、日照阻害の影響については、付近の学校及び住宅の配置状況等を考慮し、適切な配慮を行うこと。	計画建築物の配置など、事業計画の設計は、付近の学校及び住宅の配置状況等を考慮したものとします。
動物	建築物の最大高さが180メートルに至る計画であることから、オジロワシ、オオタカ、ハヤブサなどの希少猛禽類を含む鳥類の衝突事故が危惧される。このため、目視できる鳥類の飛翔コース及び飛翔高度の測定を行い、調査結果を踏まえて、バードストライクに関する検討を行うこと。	鳥類の現地調査に際しては、特に希少猛禽類を対象として飛翔コースとその飛翔高度の記録に努めます。また、事業計画の設計に際しては、バードストライクに関する検討を実施します。
温室効果ガス	事業活動による温室効果ガスの排出量の予測において、温室効果ガスの排出量及びエネルギーの使用量の原単位の設定については、適切に行うとともに、その設定理由を記載すること。	温室効果ガスの予測評価に際しては、適切に、温室効果ガスの排出量及びエネルギーの使用量の原単位の設定をするとともに、その設定理由を記載することとします。

